

2012 年度 湘南藤沢学会

「シンポジウム・研究ネットワークミーティング基金」報告書

～気仙沼ではたらく人々の魅力を伝え、
まちの魅力を見出すインタビュー手法のワークショップ～

環境情報学部 4 年 栗本美可子

1. はじめに

本報告書では、2013 年 3 月 2 日、7 日、21 日に実施した、「気仙沼ではたらく人々の魅力を伝え、まちの魅力を見出すインタビュー手法のワークショップ」の活動報告を行う。

2. 活動概要

長年ひとつの土地で仕事に従事している方々には、仕事や土地に対する、内に秘めた「哲学」を持つ人が多くいる。本活動では、この哲学を「生きること・働くことの実践知」と捉え、インタビューを通してその魅力を顕在化し、地域住民に共有することで住民が自らの土地や仕事への想いを再考するきっかけづくり(シビックプライドの醸成)をめざす。インタビューを地元高校生と共同で行うことで、当該地域を内側から活性化させていくことを試みている。

3. 活動報告

2013 年 3 月 2 日、宮城県気仙沼市において気仙沼高校の生徒とともに、気仙沼で働く原田新聞店の原田さんにインタビューを行った。プロセスは以下の通りである。

①事前ミーティング

前回のインタビュー実践の復習をし、今回のインタビュー先についての情報共有を行った。今回のインタビューにおける高校生への課題として「インタビューを切り出す、相手の発言を拾って質問をする」ことを提示した。

②インタビュー実施

気仙沼市田中前地区で「原田新聞店」を営む原田さんと、気仙沼大島観光協会会長の白幡さんへのインタビューを行った。



(原田さんへのインタビュー@原田新聞店) (白幡さんへのインタビュー@気仙沼大島)

③事後ミーティング

インタビュー内容を振り返り、印象に残った言葉や哲学があると思う言葉の書き出しを行った。インタビューを実践した感想を高校生から聞き、自他の「よかった振る舞い」「よくないと思った振る舞い」を列挙した。次回のインタビュー実践に対しての課題を水から考えさせた。

2013年3月7日には三浦時計店／ジェイズミウラの三浦さんに、3月21日にはパルポー菓子店の小野寺さんにご協力いただき、上記と同様のプロセスでインタビュー準備、実施、振り返りを気仙沼高校の高校生とともにいった。

4. おわりに

本活動の実施において、インタビューにご協力いただいた原田さんに感謝の意を表します。活動実施にご支援をいただいた湘南藤沢学会様に変感謝しております。